

募金趣意書(第Ⅳ期)

創立100周年記念募金
館山寮再建募金

～いよいよ創立100周年が来年に迫る!～

新宿高校のあゆみ

歴史のあゆみとともに時を刻んで90年

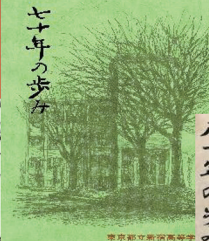


布 1918



1921)年 東京府立第六中学校
1922)年 牛込区市ヶ谷加賀町を仮校舎として開校。
1923)年 四谷区内藤町一番地の新宿御苑の隣接地に朝陽舎完成。
1929)年 群馬県利根郡水上町に

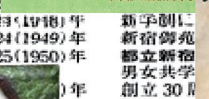
【新宿高校



「週番制のあれ」という表現に至っています。
朝陽舎の由来 馬泉水上町にある本校専用の宿舎です。水上寮では



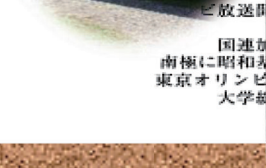
昭和19年 昭和20年 昭和21年 昭和22年 昭和23年 昭和24年(1949)年 昭和25年(1950)年



新学制に新宿御苑都立新宿男女共学創立30周年



戸山寮の由来 戸山寮とは、昭和31年より各



昭和25年(1950)年

学校群制度発足。現見朝陽舎(館山寮)改築完成。

02	東京	払込取扱票										通常払込料金加入者負担																	
口座番号 (右詰めにご記入ください)														金額	千	百	十	万	千	百	十	円							
0	0	1	7	0	8	1	4	7	5	1	0																		
都立新宿高等学校朝陽同窓会														料金			特殊												
※(郵便番号) () 住所 (フリガナ) 氏名 (旧姓) (中高 回卒 回卒組) TEL () 必ず該当欄にレ印をつけて下さい。 <input type="checkbox"/> 百周年記念募金 寄付 回目(一口1万円)(金額 円) <input type="checkbox"/> 館山寮再建募金 寄付 回目(一口1万円)(金額 円) ・芳名顕彰 募金をされる方は必ず掲載可否にレ印ください ・同窓会誌(「朝陽」等)掲載の可否 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 ・銘板掲載の可否 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 同窓会年会費 2,000円(卒業5年以内の方は免除) <input type="checkbox"/> 長期会費 10,000円(6年分)														受付局日附印															

払込票兼受領証

口座番号	0	0	1	7	0	8	通常払込料金加入者負担	
右詰めにご記入ください								
	1	4	7	5	1	0		
加入者名	都立新宿高等学校朝陽同窓会							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
払込人氏名								
料金	(消費税込み)		受付局日附印					
特殊取扱								

切り取らないで郵便局にお出ください。
記載事項を訂正した場合はその箇所に訂正印を押ししてください。

裏面の注意事項をお読み下さい。(私製承認東第4732号)

募集要項

- 名称 創立100周年記念募金（第Ⅳ期）
- 目標額 最終目標 2022年度 1億円
（現在7,205万円／残り2,795万円）
- 目的
・朝陽奨学金の給付
・館山寮の改築（維持補修費）
・集いの場の確保
〔長期無償借用が可能なオフィスの一部、マンションの一室などの物件情報をお寄せ下さい〕
- 期間 第Ⅳ期2022年度末までの2年間

- 名称 館山寮再建募金
- 目標額 最終目標 2022年度 5,000万円
（現在2,739万円／残り2,261万円）
- 目的
・男子棟再建資金
・改築資金（女子棟等）

▽募金単位 一口1万円 出来れば複数口を！ 1万円未満のご寄付もお受けいたします
▽顕彰 ご芳名を同窓会誌（「朝陽」等）と2022年度に設置予定の銘板に掲載し顕彰いたします
なお、ご芳名掲載をご辞退される方は朝陽同窓会事務局までご連絡ください

【払込方法】

次の3つの払込方法よりご利用下さい。同窓会ホームページのトップページにある「寄付金・会費の振込はこちらから！」にも同様のご利用方法が掲載されていますのでご覧ください。

- ◆郵便局払込 本紙の払込用紙をご利用の上、お近くの郵便局から払込願います
- ◆銀行振込
・振込先口座 三菱UFJ銀行新宿通支店（支店番号050）
普通 2699254 朝陽同窓会
・お願い 振込依頼人名は、卒回・対象区分・お名前の順に入力下さい
対象区分：100周年募金 H、館山寮再建募金 T
記入例 10T シンジュクタクウ（新10回生の館山寮再建募金の例）
R7H チョウヨウカク（旧制の場合は卒回の前にRを付す）
ST チョウヨウタクウ（旧教職員の場合は頭にSを付す）
- ◆クレジット決済 ホームページ「寄付金・会費の振込はこちらから！」にリンクした次のURLからご利用ください、VISAとMasterCardがご利用できます <https://salat.club/chouyou/>
- ◆個人情報の保護 ご寄付に際し頂いた氏名や個人情報は朝陽同窓会の個人情報保護方針に基づき朝陽同窓会活動に必要な場合のみに限定利用します
- ◆寄付の税制上の優遇措置 朝陽同窓会が人格のない社団（任意団体）であるため、適用はありません

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。

ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号及び金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、下部の欄（表面及び裏面）を汚したり、本票を折り曲げたりしないでください。



◇ 代表発起人 ◇

東京都立新宿高等学校朝陽同窓会 会長 橋本健一 (19回)

◇ 発起人 ◇

松本雄吉 (中21回)	河合明博 (5回)	橋本恵堅 (9回)	村上光一 (10回)
垂水尚志 (15回)	池辺晋一郎 (15回)	青柳正規 (15回)	塩崎恭久 (22回)
宮崎直道 (24回)	西尾信子 (24回)	鈴木裕太 (25回)	金杉一朗 (26回)
戸城幸夫 (29回)	鎌田邦広 (35回)	寺村仁美 (37回)	関嶋政和 (44回)

～100周年記念に向け、さらなる一步を～

朝陽同窓会会長 橋本健一 (19回)



1922年(大正11年)、本校の前身となる東京府立第六中学校が開校されてから、いよいよ来年(2022年)には創立100周年を迎えることとなりました。

この節目の年に向かって、記念事業の展開を目指し、2015年には目標額を1億円とする創立100周年記念募金が開始されました。幸い、多くの同窓生また新旧教職員方のご賛同を得、累計約7,000万円を超して目標額まであと一步というところに迫りつつあります。厚く御礼申し上げますと共に、本年、明年の第Ⅳ期2箇年、一層のご協力をお願いいたします。

記念事業としては既に、母校支援の一貫として給付型奨学金の支給を開始し、寄付金の一部はその基金として残しています。また、館山寮の改修に着手し、厨房の機器改善、厨房・食堂の冷房化や船倉の改修が完了しています。特に近年の夏の酷暑化から厨房の冷房化は従業員の健康管理上からも欠かせ

ないものでした。さらに、朝陽合唱団の設立、ホームカミングデーの開催等々、100周年記念に関連して始められた事業も着実にその歩を進めています。

そんな矢先、2019年9月に房総半島を直撃した台風15号により館山寮男子棟全壊の大被害を受けたことはご承知のとおりです。直ちに、緊急館山寮再建募金をお願いし、約2,500万円を超える浄財をご寄付いただきました。

既に、第1期工事として一部破損箇所の改修、全壊部分の整地等が完了し、男子棟再建に向かうところでしたが、新たな課題として、コロナ禍の長期化を考慮した再建を考えねばならないという事態が生まれました。さらに、損壊を免れたとは言え、女子棟も老朽化が進んでいます。これまで誰も経験したことのないコロナ禍という事態に対応できる再建を目指すためには、より一層の資金が必要となります。100年の伝統を守るためさらなるご支援をお願いする次第です。

計画中の創立100周年記念事業

記念祝賀会

創立100周年を記念して広く同窓会員の皆さまとともに、華やかで楽しい祝賀の宴を催します。懐かしい、そして大切なお仲間と共に、かけがえのないひと時をお過ごし下さい

- 開催日 2022年10月23日(日) 決定!
- 場所 京王プラザホテル
- 参加者数 400名程度
- プログラム 対談、合唱、演奏、展示、ビデオメッセージ他
- 企画 記念祝賀会準備委員会



記念音楽会

各団体、グループがそれぞれの持ち味を生かした楽しい演奏会をジャンル別に独立開催します。但し、コロナ禍のもとの準備のため2022年度または2023年度での開催を計画します。

- 合唱 朝陽合唱団、六声会合唱団
- オーケストラ 管弦楽部OB
- 軽音楽 軽音楽部OB+有志(ライブハウス開催)
- 企画 各参加団体、記念音楽会準備委員会

- 同窓会ホームページで各催しの紹介ページを開設します(今秋)
- コロナ禍の影響より急遽計画が変更になる場合があります

《ホームカミングデー中止》
コロナ感染防止のため、今年のホームカミングデーを中止します

館山寮再建の現在までの経緯

館山寮再建に向けて大変多くの皆様からご支援を頂いていることに感謝申し上げます。2021年度の再建を目標に再建委員会を中心に進めてきましたが納期確保が困難になりました。改めて新メンバーを加えた新組織（館山寮再建実行委員会）の下で2022年を目指し進めることになりました。ここに経緯をご報告いたします。

2020年9月～10月

- 第63回代表幹事会（2020年10月14日書面開催）での館山寮再建第二期工事に関する提案事項
 - 工期 2021年6月完工予定
 - 仕様 男子棟再建、女子棟改築、保健室増築、コロナ対策実施
 - 予算 92百万円
 - 見積依頼 加藤建設（館山地区）、白幡興業（館山地区）、住友林業

2020年11月

- 追加仕様の発生
 - 1) 浄化槽の改修
 - 2) 新型コロナウイルス感染症予防対策（大部屋雑魚寝方式→二段ベッド）→3社に11月30日を期限として見積作成を依頼
- 【見積回答】
- 加藤建設 見積辞退 10月29日
 - 白幡興業 見積辞退 11月30日
 - 住友林業 見積書受領 11月30日（但し、着工は最短で2021年7月）

2020年12月～2021年2月

- 参考見積依頼 2021年6月完工が不可との回答を受け、倒壊した男子棟のみの復元とした場合を依頼
- 【見積回答】
- 白幡興業 見積辞退 工期が間に合わない
 - 加藤建設 見積書受領 1月4日（但し、完工は最短で2021年末）
- 見積概算：男子棟・保健室建築、浄化槽交換で5,100万円
- 結果、学校側へは建設業者からの反応を連絡し、2021年6月までの完工は不可能であることを報告

2021年3月～現在

- 今後の対応 財団法人朝陽会の下に新たな再建推進組織「館山寮再建実行委員会」を設立
 - 設立 財団法人「朝陽会」理事会で承認（2021年3月）
 - 目的 第二期工事の企画、推進
 - 委員 朝陽同窓会副会長2名、同窓会員5名（内、4名は旧再建委員会委員）
 - 規程 館山寮再建実行委員会規程による

2022年臨海教室実施に向け寮再建を目指す

（補足）館山寮再建実行委員会メンバー強化について

同窓会と財団法人朝陽会との連携連絡を密に行う事を目的に新たに同窓会役員2名を委員に加えた。また、女子棟の改築も今後考えていかなければならないので、建築に知見のある女性を同窓生から1名加えました。

（関連記事）朝陽本誌「令和3年度朝陽同窓会総会書面開催議案 議案2. 館山寮再建の取組」をご覧ください



二〇二一年再建に向けたアプローチ

延期

再スタート



卒業後20年も経つと、ほとんどの卒年期では同期会を開催されていると思いますが、私が代表幹事を任されている26回生も25周年より5年毎に記念同期会を開催しています。その開催のための労力は大変なものがあります。その中で朝陽同窓会事務局の存在は大きく、同期会案内状印刷、宛名ラベル発行、発送作業場所の提供、恩師の消息などで毎回事務局には大変お世話になっています。事務局の助けがなければ同期会を開催するのは不可能と言っても過言ではありません。その事務局の仕事は、会員情報の維持管理に始まり、会費・寄付金収納業務、会報「朝陽」の発行、ホームページの運営、総会をはじめとする様々なイベントの運営と支援と、膨大で多岐に渡っています。また、母校への支援も重要な役目の一つです。臨海教室の館山寮維持管理を始め、進路部通信への寄稿、キャリアガイダンス講師派遣、特別講義などは同窓会の支援がなけれ

ば成り立ちません。さらに100周年記念事業としてスタートした奨学金支給は、生活に苦しむ現役生への直接的な支援で、一つの社会貢献活動と言えます。

人と人のつながりがますます希薄になる今日、同窓会という人のつながりでできている組織が長きにわたり存続してゆくのは厳しいのかもかもしれません。朝陽同窓会も会費納入率の低迷で財政的に運営が難しくなってきたのが実情です。同窓会の意義ある活動を絶やさないためにも、募金を含めた一連の100周年記念事業への皆様のご協力をぜひともお願い申し上げます。また、100周年記念事業プロジェクトとして2022年10月23日に「記念祝賀会」を予定しています。現在、私共準備委員会はこの大きな節目を同窓会員と共に盛大にお祝いすべく祝賀会の企画を練っております。朝陽同窓会の次の100年の更なる発展のスタートとして、盛会になりますよう、より多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

～歴史の先にある館山寮再建に向けて～

館山寮再建実行委員会委員 岩崎洋平 (38回生)



2016年に娘が新宿高校に入学し、その縁もあってPTA会長を務めていたことから、館山臨海教室の生徒入寮式には二度立ち会わせてもらっていた。また、卒業25周年の学年全体同期会を機に館山寮でのBBQにも参加しており、記憶の中の館山寮、そして近年の館山寮ともに自分の中ではかけがえのない存在であった。

2019年9月、つい数週間前にBBQで訪れていた館山の台風被害の報は、あまりにも身近な事件であった。テレビ中継で甚大な災害である映像を目の当たりにしたその直後に館山寮も被害にあったことを知った。

その悲報から1か月後、一般財団法人朝陽会事務局より館山寮の再建委員会に参画してほしい旨の打診を受け、館山寮再建の計画を担うこととなった。

再建委員に加わった当初、毎年入学してくる生徒には必ず館山臨海教室を体験してもらいたい、いやさせるべきとの思いから、とにかくスピード重視での再建を目指した。保険手続きをスムーズに進め、再建の計画を進めるために必要なメンバーとして保険会社勤務、木造建築に長けた設計士、元水泳部のいずれもOBに参画してもらった。

思い出のあるあの館山寮を再現したいという意見、いやせっかく再建するのであれば今後50年以上使い続けられる堅牢な建物にすべきという意見、夏に限らず年間を通じて同窓生が集い宿

泊できる施設にすべきという意見、いろいろな意見が寄せられた。

しかし、おりしもオリンピック特需による人手不足に加え、南房総地区の甚大な被害から民家・公共施設を最優先し復興せねば、という状況において計画および施工期間が不足することが明らかとなり2020年夏の再建を断念せざるを得なかった。

2021年夏の再建を目指し、再スタートを切らんとしたまさにその時、コロナ禍となり計画の歩がなかなか進められなくなってしまった。

状況が改善しないまま、また今後のコロナを取り巻く動向もわからぬ状況ではあったが、再建の方向性を見出すべく学校関係者、水泳部OB会メンバーとの協議を実施し、かつ新たに設計士およびOGを加えWithコロナ、Afterコロナ時代に相応しい施設とは何か、臨海教室が本来目指している目的に相応しい施設とは何かなどを模索しながら検討を進めている。この稿が掲載される頃には設計者を選任し、男子棟再建にとどまらず、人数比率の変化に伴い手狭となり、かつ老朽化の進む女子棟の改修・改築をも構想に含めた設計を進めていることと思う。

冒頭に申し上げた通り、自身の記憶に刻まれている寮、また後輩たちにも同様に長く記憶に刻んでもらえる寮の再建を目指し、再建実行委員会メンバー全員で日々協議し力を合わせ、竣工のその日を迎えるまで全力で取り組む所存である。皆様には暖かいご支援およびご協力をお願い致します。

2020年度 募金にご協力いただいた同窓生の皆様へ感謝を込めて

100周年記念募金・館山寮再建募金（2020年度分）寄付者一覧（2020.4.1～2021.3.31、敬称略）

- ・ご芳名掲載のご承諾をいただいた方を対象に、卒年期毎にあいうえお順にて掲載しています
- ・2019年度にご寄付を頂きながら掲載が漏れた方につきましても今回掲載いたしました
- ・ご承諾されながら掲載されていない方につきましてはお詫び申し上げます。事務局までご連絡下さい。次の機会に掲載させていただきます
- ・2020年度寄付件数：創立100周年記念募金 312件（内、226件掲載） 館山寮再建募金 359件（内、251件掲載）

創立100周年記念募金 ご芳名

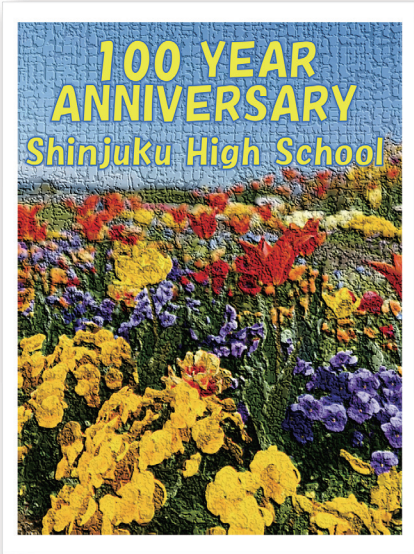
【旧教職員】	石井 文雄	黒田 邦夫	高橋 昌彦
木藤 章雄	幸福 紀生	島田 豊彦	坪井 昌造
佐藤 由紀夫	横山 滋充	萩原 泰夫	前田 敦子
津金 永	【第12回生】	八田 秀夫	【第27回生】
【中第18回生】	細井 大二	宮崎 範義	大貫 一朗
田崎 昭太郎	【第13回生】	村上 志郎	小田 淳
【中第20回生】	岸 信行	和田 健司	志賀 直仁
佐藤 和直	菅沼 邦雄	渡辺 等	高田 恭子
佐藤 秀昭	中川 智康	【第20回生】	高田 泰
【中第21回生】	平井 通宏	植村 理恵	劉 弥生
樋口 正輝	【第14回生】	加藤 直規	【第28回生】
藤井 英二	草野 秋人	上村 公平	石原 明
【第1回生】	宗田 親彦	中村 直明	色部 一哉
垣花 昌彦	都河 和彦	福田 直行	岩佐 富雄
【第3回生】	【第15回生】	三輪 清志	佐藤 伸夫
岩橋 洋一	市川 眞夫	【第21回生】	佐藤 泰治
杉浦 康平	一志 毅	太田 祥子	富樫 耕司
【第4回生】	岩本 亜男	清弘 和子	【第29回生】
岡 秀俊	西出 紀久	河内 和子	平野 邦彦
岡崎 重美	【第16回生】	長澤 敏雄	平野 ひろみ
佐藤 榮之輔	木村 眞一	本山 芳裕	伏島 幸子
弘	鈴木 勝男	【第22回生】	【第30回生】
藤岡 慧二	山田 新	安藤 弘一	芦沢 博道
吉岡 浩一	若杉 正敏	木村 宗夫	伊藤 日月
【第5回生】	和田 武徳	塩崎 恭久	柏葉 清志
鈴木 陽子	渡辺 義二	丸山 啓子	小泉 和也
【第6回生】	【第17回生】	三瀨 忠道	笹木 睦朗
川西 瑛子	阿部 清英	武藤 康正	末松 美砂
三浦 正純	石坂 廬	矢代 博昭	竹田 寿彦
宮本 誠	大村 宏夫	吉田 昌弘	【第31回生】
【第7回生】	岡 良樹	【第23回生】	荒川 光弘
石渡 隆生	芝崎 泰雄	卜部 栄明	白井 清
杉尾 邦江	白井 光雄	黒木 由里子	中越 一統
吉木 健	田中 俊郎	鈴木 寿男	野口 周子
吉村 悟	塚本 壽雄	辻野 直史	明珍 幸一
【第8回生】	原 博志	中野 正紀	【第32回生】
青木 宏泰	兵頭 美津子	原 幸雄	青田 充弘
鶴澤 靖	藤田 保	【第24回生】	栗山 弘之
高坂 盛彦	堀内 篤子	岸 順子	藤本 創
小林 曉生	水野 忠尚	酒井 邦彦	宮島 依子
森脇 英一	宮部 安男	辰巳 宏行	森岡 誠
【第9回生】	【第18回生】	橋爪 鈴男	【第33回生】
石井 英子	大西 孝彦	藤江 幸男	伊藤 勇
加島 義正	沖島 徹哉	渡辺 敦子	浦野 寛之
曾木 秀信	草川 衛	【第25回生】	大村 正勝
森 和彦	田辺 誠	浅原 寛人	小川 一成
【第10回生】	成松 明博	東城 和子	国沢 真弓
穂田 宏	【第19回生】	鶴城 光雅	【第34回生】
上野 雄一郎	石川 俊生	中久木 均	小野 瑞城
大高 浩	市川 一泰	中村 靖	長澤 信敏
黒岩 一紘	井上 治	服部 敬子	濱口 建
林 昭彦	太田 公子	兵藤 弘継	平山 恭
【第11回生】	岸田 令子	【第26回生】	【第35回生】

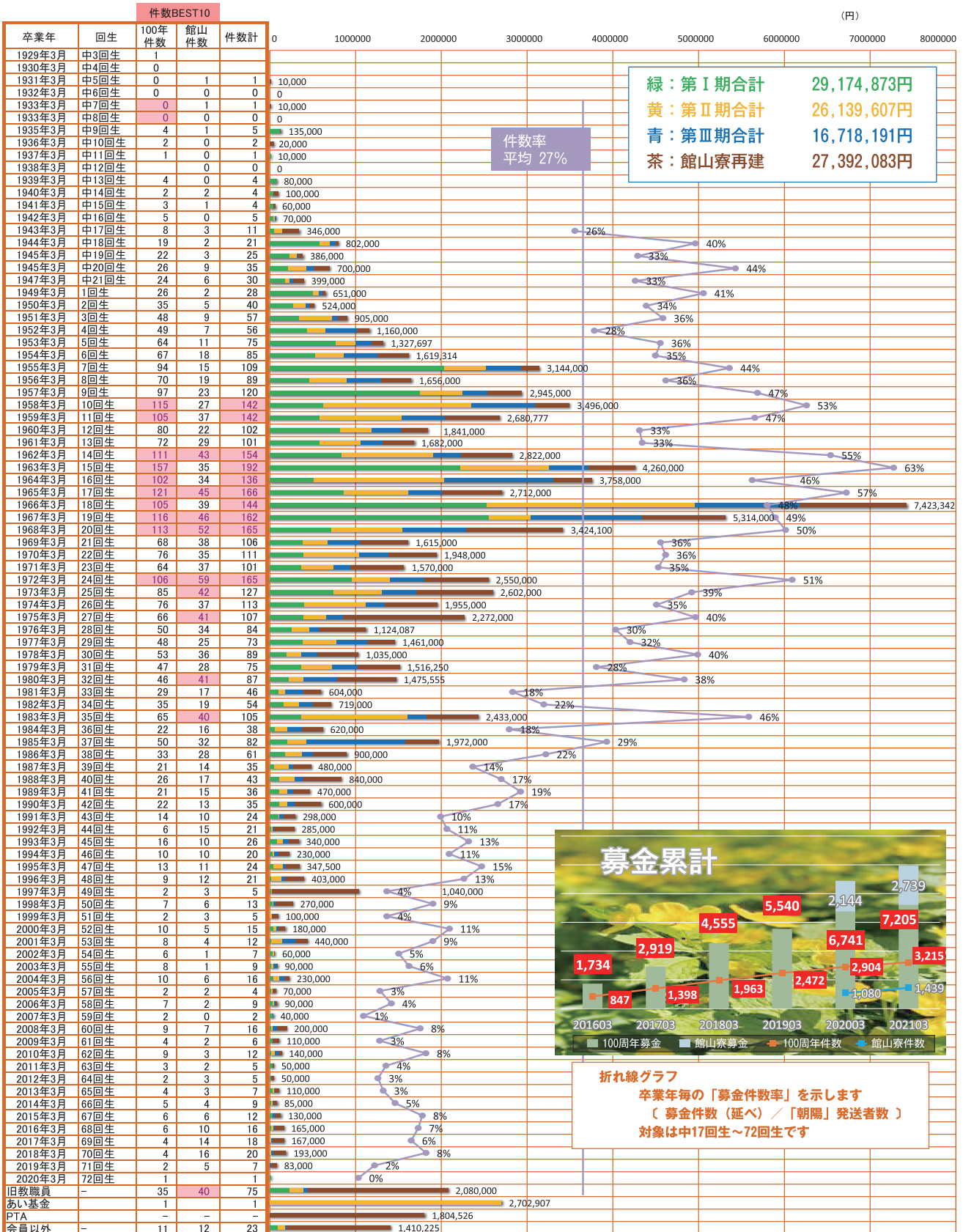
海老原 太郎	【第38回生】	武士 純子	【第58回生】
岡崎 えりか	荒木 哲也	廣田 勝彦	大久保 和彦
杉山 秀茂	内山 陽一朗	【第46回生】	【第60回生】
【第36回生】	狩野 文正	畠山 淳一	楠 木綿太
雨宮 正臣	【第39回生】	牧田 納幸	高橋 ときわ
石島 利浩	藪口 慶太郎	黛 勇	直宮 修平
入澤 武久	横溝 太郎	【第48回生】	比嘉 翔馬
太田 秀明	【第40回生】	井上 桃子	【第62回生】
穴倉 淳一郎	齋藤 一郎	若井田 暁	藤川 三世
杉本 和基	福山 正崇	【第53回生】	【第67回生】
宮原 賢二	【第41回生】	吉田 正洋	福原 惣也
八木 毅	俵田 明	【第54回生】	【第68回生】
【第37回生】	広津 明	印藤 正幸	持田 朗生
石井 隆太	宮岡 誠	【第55回生】	【第69回生】
小佐野 隆治	【第42回生】	新保 隆之	阿部 賢志郎
常名 英毅	糖信 誠吾	高橋 静加	【第70回生】
竹中 一行	【第43回生】	中野 誉司	加納 光
谷内 理	松田 泰宜	【第56回生】	
長 俊之	【第44回生】	松前 元	

館山寮再建募金 ご芳名

【旧教職員】	【中第19回生】	棚谷 満広	黒岩 一紘
青山 哲則	石川 周	陸奥 馨三	権田 恵美子
有元 秀文	【中第20回生】	八木 庸一郎	杉田 士郎
井口 浩一	安藤 盛夫	【第6回生】	曾田 肇
牛山 睦子	伊藤 達男	青柳 司	長谷 好男
小口 淑美	窪寺 昇	小宮 光三郎	中村 亨
小栗 洋	葉梨 信行	坂本 忠雄	村上 光一
金田 民江	緑川 澄雄	塩田 京子	【第11回生】
川嶋 直司	【中第21回生】	東間 掬子	石井 文雄
菊地 宏義	樋口 正輝	【第7回生】	糸井 晶
木藤 章雄	深沢 俊夫	荒井 俊幸	井上 紀子
幸田 操	古河 秀延	藤本 允	土田 榮一郎
幸村 伸	山本 保	穂坂 正彦	長塚 宗久
佐々木 虔一	【第2回生】	松谷 眞	原島 恵子
佐藤 由紀夫	安藤 由多加	【第8回生】	三池 律子
鈴木 裕太	稲垣 良一	青木 宏泰	森山 康男
住岡 明朗	吉田 有孝	大高 逸子	山形 文一
飛田 牧弘	【第3回生】	高坂 盛彦	【第12回生】
西尾 信子	出光 昭	星 利樹	阿部 光
林 敦子	小林 達郎	山田 吉孝	榎本 千鶴子
水村 光男	佐々木 一郎	【第9回生】	北形 護
【中第9回生】	杉浦 康平	石井 英子	藤原 和彦
古川 晴康	田中 敬一	尾崎 芳	松本 順子
【中第14回生】	田中 伸雄	加藤 祥子	桃井 淑子
倉持 幸一	【第4回生】	関山 隆弘	森 茜
杉 政孝	倉地 弘政	田中 双葉	森 安恵
【中第15回生】	柴山 繁	戸塚 忠	吉藤 正明
島森 下二	廣田 宏二	松野 茂	渡辺 衛
【中第17回生】	【第5回生】	森 和彦	【第13回生】
野村 銀市	市川 昌	【第10回生】	勝俣 宣夫
冥賀 孝寧	斎藤 一夫	太田 裕	清川 雪彦
【中第18回生】	鈴木 松一	尾谷 慶子	菅沼 邦雄
丸 日出夫	田中 義彦	加藤 一昭	高原 安弘

中神隆清 中中智康 西博博 藤本ひろみ 【第14回生】	五十嵐公利 井手峻 伊藤良徳 今井干美 岡本稔 上川良太郎 斎藤孝雄 佐藤文威 宗田親彦 中村威 野崎贊平 橋本敏 開藤修 澤親子 藤田栄一 古川厚 山口武志 山口奉頼 【第15回生】	市川眞夫 一志毅 岩本重男 岩本直美 大塚捷子 中千鶴 中島捷 袴田みち子 羽田實 【第16回生】	勝又一郎 木村眞一 久間木明 鴻谷美和子 齊藤静武 佐藤一生 杉田敦子 鈴木研吾 若杉正敏 和田武徳 【第17回生】	青海政吉 阿部清英 石坂廬 衛藤英達 大口雅子 岡良樹 小川正明 上地健一 芝崎泰雄 鈴木祥二 野上明彦 野本和夫 東英文 藤田保 堀内篤子 【第18回生】	白井瑞穂 博保	大西孝彦 冲島微哉 塩田重勝 竹村モモ子 手島幹雄 中真知子 成松明博 原敏治 【第19回生】	石川俊生 石川延男 井上治 今村純一郎 太田公子 大野良三 金子満 桑田誠均 小林庸子 坂口柴崎 島田豊彦 杉山健一 橋本秀夫 八田宮崎 村上志郎 渡辺等 【第20回生】	浅野ななみ 入江洋司 岩見哲朗 植村理恵 加藤直規 上村公平 柳原光裕 清水みどり 戸部英子 中村直明 南村信子 南湖修一 葉袋啓一 鈴木冥賀 【第21回生】	浅田不二雄 岩永克美 清弘和子 河野基 田嶋正二 常包芳樹 長澤敏雄 中村隆幸 深間内正人 南正樹 本村眞澄 吉清一郎 吉田和宏 【第22回生】	内木由美子 柴山之 高橋協 竹内光 中嶋愛子 丸山啓子 三瀨忠道	武藤吉田【第23回生】 新井佳子 石地徹 下部栄明 黒木由里子 小林繁樹 下島正幹 辻野直史 中野正紀 野中人 橋本温人 林博昭 原幸雄 原田美智子 松野信夫 八木達夫 山田知津子 吉倉広志 米田陽二郎 【第24回生】	青木修 赤川久恵 冲野達夫 岸順子 木村昌和 小谷義 坂本倫子 関本淳子 辰巳宏行 西山太一郎 橋爪鈴男 花形和昌 原田優 藤江幸男 細谷和夫 山田敏雄 渡辺敦子 渡邊健二 【第25回生】	鵜城和子 江川泰達 岸田喜昭 上甲幹 高橋忍 竹迫和美 中久木均 中村靖 沼田敬子 兵藤弘繼 水戸野孝宣 【第26回生】	磯貝充彦 北原敏幸 木下知子 高橋昌彦 谷井浩哉 前田敦子 松下佳子 松山律子 【第27回生】	有元京子	伊藤克己 大貫一朗 萩久保貴嗣 小田淳 中條克俊 徳永成康 内藤文彦 永田美喜子 林史恵 藤田信 八木知子 【第28回生】	伊藤正宏 岩佐富雄 岡本勢津子 笠原洋 神健治 佐藤伸夫 佐藤泰治 嶋原孝之 鈴木香代子 富樫耕司 長谷川登志夫 宮田尚子 矢向誠 【第29回生】	岡本任史 塚越信幸 林佳恵 平野邦彦 平野ひろみ 吉原淑子 【第30回生】	秋葉令子 芦沢博道 飯田富士子 伊藤日月 柏葉清志 小泉和也 笹木睦朗 柴田勉 清家千春 関戸由美子 竹内徹 竹中美智子 間瀬登美子 元木明 【第31回生】	白井清 小泉史枝 塩澤清恵 和田圭子 渡辺和久 【第32回生】	池田裕一 梅谷健 加地宏行 栗山弘之 石山裕次郎 武井千波 中井啓之 長佐古美奈子 野中道生 藤本創	牟田夏彦 【第33回生】	大村正勝 小川一成 河村知行 国沢真弓 【第34回生】	石堂圭太 小野瑞城 田中典子 長澤信敏 濱口建 平山恭 渡辺信久 【第35回生】	海老原久太郎 岡崎えりか 岡村未対 小川欣一 川原井裕子 田邊光 立木美佳子 三浦博 村田弘和 森憲秀 吉田真理子 【第36回生】	雨宮正臣 石島利浩 入澤武久 太田秀明 宍倉淳一 杉本和基 中谷圭一郎 八木毅 矢野文子 【第37回生】	大野弥治 小佐野隆治 常名英毅 谷直樹 谷内理 長俊之	山岸菜海子 【第38回生】	荒木哲也 内山陽一 狩野文正 小島龍太郎 後藤小枝 白石真希 白土恵 沼田大輔 野明俊 松本佐知子 渡邊茂人 【第39回生】	横溝太郎 横山浩之 【第40回生】	加藤陽子 齋藤一郎 長澤慶 福山正崇 藤崎泰徳 藤森誠 【第41回生】	笠原直子 齊藤由紀子 中原紀子 中松幸代 中村淳一 宮岡誠 【第42回生】	鈴木直人 千葉智子 糖信誠吾 牧野昭仁 吉田章 【第43回生】	相本忍 駒形昭子 高橋有二 田畑由紀 【第44回生】	堺沢大輔 佐藤智子 中村二美 廣田勝彦 深見雅子 宮島宗一 【第45回生】	下条真由 西原浩一 【第46回生】	浅沼一弘 石田大輔 剣持美紀 畠山淳一 山田泰宏 【第47回生】	海野貴之 【第48回生】	井上桃子 富宇加潤 若井田曉 【第50回生】	石田千草 菊地大樹 澤田和恵 森本和恵 【第51回生】	小野圭一 【第52回生】	橘翔士 富樫朋美 【第53回生】	根岸奈緒子 【第54回生】	印藤正幸 【第55回生】	高橋静加 【第56回生】	松前元 【第60回生】	高橋ときわ 直宮修平	比嘉翔馬 【第63回生】	秋元香織 【第64回生】	衛藤誠矢 長野友香 【第66回生】	渥美正樹 益山奈央子 【第67回生】	石井恒己 鷺見泰明 田中藍瑠 堀川祐司 本多祐樹 【第68回生】	齋藤航一郎 鈴木宏治 長野裕貴 益山裕貴 持田朗生 【第69回生】	神田匠 黒田海都 田川可世子 【第70回生】	秋山仁 上西志歩 田中遥 田村咲 平井悠満 廣田実穂 【グループ・有志】	芦川志織 稲貝聡太 26回同期生一 同 新宿42回生有志
---	--	--	--	---	------------	---	---	---	---	--	--	--	---	---	------	--	--	---	--	--	---	-----------------	---	---	--	---	--	------------------	---	-------------------------	---	---	--	--	---	-------------------------	---	-----------------	---------------------------------	---	-----------------	------------------------	------------------	-----------------	-----------------	----------------	---------------	-----------------	-----------------	-------------------------	--------------------------	---	--	---------------------------------	--	--





◆発行/お問合せ 朝陽同窓会事務局 〒160-0014 東京都新宿区内藤町11-4 都立新宿高等学校内
 電話：03-5368-8366 FAX：050-3730-0138
 ホームページ：http://www.nchouyou.net/ 電子メール：jchouyou@estate.ocn.ne.jp